



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 聖路加国際病院 泌尿器科 新保 正貴

【研究責任者】

聖路加国際病院 泌尿器科 新保 正貴

【研究代表者】

聖路加国際病院 泌尿器科 新保 正貴

ロボット支援前立腺全摘除術を受けられた方を対象とした

術後鼠径ヘルニア発症に関する研究

1.研究の対象

2011年9月～2014年2月までに当院で前立腺癌と診断され、ロボット支援前立腺全摘除術を受けられた方

2.研究の目的・方法

前立腺がんに対する前立腺全摘除術後には鼠径ヘルニアの発症が多いことが知られていました。ロボット支援による全摘除術に移行してもやや発生が多いことが徐々にわかってきました。

私たちは、以前、ヘルニア予防に対する工夫を行うことで、鼠径ヘルニアの発生をある程度予防できることを報告しました。しかし、長期的に本当に鼠径ヘルニア発症が予防できるかどうかまだわかっていません。

そこで、長期的に私たちが行なった予防法の効果がどの程度あるのか、予防法を施行したにも関わらず、鼠径ヘルニアになってしまった方の要因などを検討します。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人 研究機関の長による実施許可後～2023年3月31日までの予定です

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》年齢、ID、身長、体重、既往歴、前立腺癌の状態、前立腺の大きさ、鼠径ヘルニアの発生の有無(左右も含む)、手術方法の違い 等